



市議会だより

平成 29 年 12 月定例会
常任委員会行政調査の報告
議会報告会の結果報告
私もひ・と・こ・と

▶ 2
▶ 10
▶ 11
▶ 12



—自立した未来の大館市民の育成とは—

教育産業常任委員会では、12月定例会の現地調査において、民間の教育表彰として権威ある「博報賞」を受賞した花岡小学校を、教育委員の方々とともに視察。児童の主体性にこだわった「チャレンジ授業」、基礎・基本の定着を徹底する「ベーシック授業」を組み合わせて進められる授業で子供たちが意欲的に学び合う姿は、未来の大館市民の「生きる力」が確実に培われていることを実感させられるものでした。(調査日: 平成 29 年 12 月 7 日)

大館市市税条例の一部改正案を可決 平成 29 年度分で都市計画税は廃止

平成 29 年
12 月定例会

平成 29 年 12 月定例会は、11 月 28 日から 12 月 14 日までの 17 日間の会期で開催されました。ここでは主なものをお知らせします。

12 月 5 日には、大館市立桂城小学校の 6 年生 40 人が一般質問を傍聴にいらっしゃいました。同校では昨年も定例会を傍聴に訪れています。

児童の皆さんには、緊張した面持ちで間近で見る議員のやりとりに耳を傾けていました。



〈傍聴に訪れた桂城小学校 6 年生の皆さん〉

桂城小学校の皆さんを感じたこと・考えたこと

- 議会を傍聴するのは初めてで、とても緊張した雰囲気だと思いました。
- 時間ぴったりに話し終わるところや、座る席が決まっていることを知りました。
- 私たち子供や市民のことを 1 番に考えていてすごいと思い、興味を持ちました。
- 名前のところに番号があり、番号で呼び合っていたので驚いてしました。
- 大館の現状や他県との違い、活動の様子などを真剣に話していて、市議会の重要さや責任は大きいのだと感じました。

○ 条例案

大館市市税条例の一部を改正する条例案

平成 29 年度分までの賦課・徴収をもって都市計画税を廃止しようとするものです。

原案可決されたことにより、平成 30 年度分から都市計画税は課税されないことになります。

原案可決

○ 予算案

平成 29 年度大館市一般会計補正予算（第 7 号）案

・ ふるさと応援寄附推進事業費追加	6, 258 万 4, 000 円
・ あきた未来づくりプロジェクト等事業費追加	3 億 2, 059 万 5, 000 円
・ 就学援助事業費追加	1, 572 万 2, 000 円
・ 郷土博物館耐震改修事業費追加	1 億 1, 830 万 7, 000 円
・ 二ツ山総合公園整備事業費追加	1 億 0, 769 万 6, 000 円

以上を含め、補正総額 7 億 3, 352 万 4, 000 円

原案可決

○ 12月定例会に提出された請願・陳情

採 択

【陳 情】

- ・ 核兵器禁止条約に署名・批准を求めることについて

継続審査

【請 願】

- ・ 主要農作物種子法廃止に伴い万全の対策を求めることについて
- ・ 米の生産費を償う価格下支え制度を求めることについて

【陳 情】

- ・ 消費税率10%への引き上げ中止を求めるについて
- ・ 介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の待遇改善と確保を求めるについて
- ・ 国民健康保険運営の都道府県単位化について

○ 継続審査となっていた請願・陳情

採 択

【陳 情】

- ・ 全国森林環境税の創設を求めるについて

継続審査

【請 願】

- ・ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について
- ・ 労働基準法改定案の撤回を求めるについて
- ・ 原発の再稼働中止を求めるについて
- ・ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めるについて
- ・ パークゴルフ場の設置について
- ・ 武道館解体に伴う代替施設建設について

※ 請願・陳情とは

市の行政に関する意見や要望があるときは、大館市議会に対して請願書または陳情書を提出することができます。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。請願も陳情も同じく取り扱っています。

大館市議会から意見書を提出しました

● 西十和田トンネル（仮称）の建設を求める意見書

《提出先》 秋田県知事、青森県知事

● 道路整備予算の拡充及び道路財特法の規定による補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

● 全国森林環境税の創設を求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

● 核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書

《提出先》 内閣総理大臣

減反配分見直しに万全の態勢を

吉原 正議員（いぶき21）



〔問〕 米価下落の悪夢からようやく価格がもとに戻りつつある今日、なぜ減反配分をやめるのかを農家は

疑問に思っている。経済界の要請に

政府が応えた結果であるが、過剰交付による米価下落が生じないよう万全の態勢を求める。

〔市長〕 国が需給見通しを示し、県が生産の目安を提示する。それを

もとに市農業再生協議会が市の生産の目安を決め、JA等集荷業者を通じて各農家に配分する。米の価格安定のためには需給調整は欠かせない。正確な情報を伝え、混乱が生じないように努める。

地域住民の衰退懸念解消を

〔問〕 東館・大葛地区の公共施設が相次いで廃止の方向であり、地域の衰退加速を心配する声がある。地域コミュニティーの活力維持など衰退させない方策を検討すべき。

〔市長〕 地元が維持管理していくのが困難な施設は廃止もやむを得ないと御理解を得ているが、今後、活動の継続を希望する場合は地域応援プラン等を活用していただきたい。ベニヤマ自然パークは、町民浴場・コテージを活用した新たな方向性で協議を重ねており、地域活性化につながるよう整備を進めていただきたい。

〔問〕 議会報告会で、中心部から離れた地域が取り残されていく不安感を訴えられた。市長の思いは。

〔市長〕 町なか一極集中ではなく、集落を拠点と考え、地域の将来像を示せるよう都市再興基本計画を策定中である。

熊を里におびき寄せない対策を

〔問〕 人里の味を覚えさせない緩衝帯の整備は最も有効な熊対策とされる。ぜひ取り組みを。

〔市長〕 従来は熊に遭わない対策、遭つたときの対策に重点を置いていたが、今後は餌となる誘因物の適切な管理についても市民に周知する。

また、緩衝帯（里地里山の保全）を整備することは、その効果が証明されている。多面的機能支払交付金事業等の活用を周知するほか、河川土手の茂み除去等を県へ要望する。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

小・中学校の不登校といじめの対策は万全か

佐藤 健一議員（いぶき21）



〔問〕 市内小・中学校の不登校といじめの現状と対策は。

〔教育長〕 年3回、全小・中学生を対象に「いじめ調査」を実施しており、11月までの結果、認知件数は小学校345件、中学校19件、計364件である。小学校で認知が多いのは、自我発達の初期段階にある低学年においてであり、この時期はそれぞの自我のぶつかり合いにより、けんか・いじわる・からかい・いじめなどさまざまなトラブルが発生することが避けられず、それらを全てカウントしているためである。まず

〔市長〕 市では、農業経営の安定化を図るため、米と野菜等との複合経営を推奨しており、「えだまめのまち大館」の実現に向けて作付拡大に取り組んでいる枝豆を初めとする市の重点戦略作物9品目と比内地鶏・飼料用米等に対して支援する耕作放棄地発生防止作付推進事業を市単独事業で実施している。30年度以降は酒造会社等から引き合いの多い加工用米への支援を追加するなど、見直しを図った上で実施することを検討しており、持続可能な農業と農家所

得の向上につなげたいと考えている。

点では市全体で小学生18名、中学生47名に不登校及び不登校傾向を確認している。具体策として、スクールカウンセラーなどの知見をもとに、13名は適応指導教室「おおとり教室」へ、9名が桜橋館の「スペース・イオ」への登校を始めており、徐々に家庭から在籍校へ向かえるよう段階的に支援している。

30年度以降の農業政策について

〔問〕 30年度以降の大館市の農業政策を伺う。

〔市長〕 従来は教育的指導を早期に把握し、それらトラブルを早期に解決する上での早期解消に努めるのが適切な対応である。認知したものを見て解消するまで各校で責任を持って継続指導していく。また、毎月各小・中学校の欠席者状況を把握しており、10月時

保育士の待遇改善を

田中
たなか

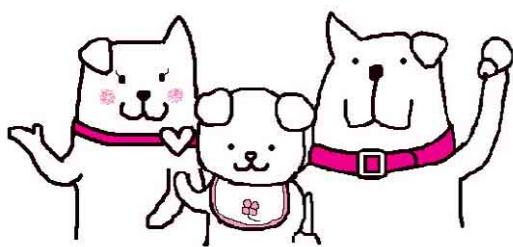
耕太郎議員（いぶき21）



〔問〕 安心して仕事をし、安心して子供を育てる環境にするために保育士不足の解消が喫緊の課題である。保育士不足の具体的要因は、その苛酷なまでの労働条件にある。園内研修・頻繁な書類作成・保護者対応・延長保育・土日保育など、「量」の拡大と「質」の向上のため、保育士の皆さんは日々奮闘している。現場の声をもつと詳しく把握し、保育や教育に携わる全ての人が余裕を持って子育て支援ができるような環境づくりと保育士の待遇改善を強く求める。

〔市長〕 現在の保育は、子供たち一人一人の異なる個性や発達の程度に合わせた対応と小学校への円滑な接続が大きなテーマであり、保育士に求められる専門的知識や能力も高度なものとなってきた。安全に保育するための気配りと体力、保護

者への接遇能力、延長保育への対応、事務処理、会議や研修会等、保育士の労働環境が厳しさを増していることは市長として認識している。今後は、これまで現場保育士の頑張りに依存し過ぎた点を反省し、実施中の待遇改善とともに、正規保育士の増員、業務の棚卸しと検証、組織的対応のマニュアル化、定型事務のシステム化などを進め、真に安全で安心な保育の環境を整備してまいりたい。また、保育現場の声を直接、業務や環境の改善につなげられるような仕組みを整え、地域や保護者とともに、保育士が余裕を持つて子育てを支える環境づくりを行ってまいりたい。



一般質問

一般質問の全文は、3月上旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

林道岩瀬線の市道認定について

阿部 文男議員（平成会）



〔問〕 市道の認定については、道路としての要素である交通量及び人口密度を考慮して、公共的性格を有するものを認定していると思うが、市道認定された場合の除雪費・補修費の捻出どのように計画しているのか。起債の借り入れを考えているようだが、起債とは借金であり、大館市の負債がふえることになる。また、26～28年度の市道認定は41件で、そのうち整備された路線は2路線であるが、まだ整備されていない路線の整備が必要である。

〔市長〕 市道岩瀬線は、観光振興や産業振興に寄与する道路であると考えている。今後の整備については、社会資本整備総合交付金を活用し、経済的な工法の採用や維持管理費用のかからない施設設計、施工に努めたい。また、除雪については市でこれまでも除雪は行っていないので、

今後も同様に対応したい。市道の整備についても、計画的に進めてまいりたい。

〔問〕 新庁舎建設予定地は、歴史上価値の高い建造物の大館城跡地であり、今回発掘調査が行われた場所は、城の内側である。私たちの孫世代に、私たちの先祖がどのように暮らしていたのかを伝えるべきであるため、遺構の一部をそのままの形状で展示してもらいたい。新庁舎の床を強化ガラス製にして、市役所を訪れた市民が大館城の遺構を自分の足元に見られるようになります。

〔市長〕 発掘調査で発掘された遺構は埋め戻しされ、調査の成果は映像や復元モデル、写真などで展示するのが一般的である。強化ガラスの歩道を設置することは、大がかりな保存処理工事や、新庁舎の設計・スケジュールの変更が必要となるため、困難であると考えている。新庁舎にはイベントスペースなどを整備する計画であり、完成後はこれらのスペースを活用して、大館城関連の資料などを展示したいと考えている。

子供達の安全のために⑥放射性物質がある教育環境について
(7小中学校等の放射性セシウム濃度)

佐藤 芳忠 議員 (無所属)



二重三重のリスク管理をしています。

鶏ふん悪臭公害と
農林行政について

〔問〕 新たに養鶏場を建設する際は、鶏舎と鶏糞処理場が同じ場所に建設されるのが普通です。しかし、平成21年に建設された養鶏場は、鶏舎は矢立に鶏糞処理場は20kmも離れた二井田に建設されました。鶏糞処理場を建設する際は事前に住民の同意を得なくてはならないのですが、農林課は養鶏業者が同意を得ていないのを知りながら、19年度に鶏糞処理場建設計画に同意し、20年には地域の同意があるかのように市議会に説明し、市が建設を認めてから、初めて二井田地区で事後報告の説明会を開き、21年に建設させました。

建設後は、住民が悪臭で困っているのに業者へ適正な事業実施を求めず、26年には悪臭の原因の旧式の処理装置の更新を認め、27年には悪臭がゼロになるという装置を設置せましたが、住民は年に120日も悪臭に悩まされています。住民が快適に暮らせるための市の対策を伺います。

〔市長〕 養鶏業者は脱臭装置の設置に着手しています。業者に矢立の土地取得に最大限努力し交渉を続けるよう指導し続けます。

〔教育長〕 万いのことも想定し、教育環境をどうお考えか。

「健康寿命日本一」へのチャレンジについて

佐々木 公司 議員 (いぶき21)



取り組みが必要である。

有害鳥獣対策について

〔問〕 熊対策の短・中・長期の計画と、カラスの冬期集中集合場所の対策は。

〔市長〕 熊対策の短期的な対応は出没時の注意喚起・捕獲活動。人身被害の危険がある場合は銃器での追い上げ活動である。中・長期的には獣友会会員の確保・育成と、人の生活圏と熊の生息域の区別対策や電気柵の設置に取り組む。カラス対策は他市との取り組み事例の情報交換や、実害を減らすための効果的な対策を念頭に置きながら多方面から情報収集し対策を検討する。

片貝家ノ下遺跡の

国史跡指定は

〔問〕 片貝家ノ下遺跡は大発見であると注目されているが、国史跡指定の見通しは。

〔市長〕 県埋蔵文化財センターの調査が3年目を迎える。来年度も継続予定である。仮に県から市に移管された場合は、専門家による調査委員会を設置し、客観的な価値が認められる報告書の作成・申請という長い

全国市区町村
人気パンフレットについて

〔問〕 東京にある地域活性化センターのふるさと情報コーナーに、市町村の観光・イベントのパンフレットが展示されているが、その活用は。

〔市長〕 首都圏における観光PRの重要な施設と認識しており、今後は地域資源を磨き上げ、観光パンフレットの刷新を検討し、大館の魅力が十分伝わるようにしたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

高齢者・弱者への対応は速やかに

笹島 愛子 議員（日本共産党）
ささじま あいこ



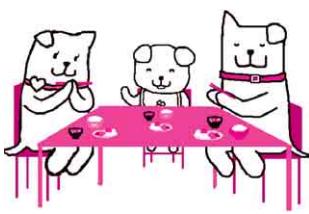
来年から米の生産調整が廃止される。直接支払交付金の廃止が打ち出され、農家・農地に深刻な影響が懸念される。展望を示すべき。

〔問〕 「市立病院バス停に風除室を設置してほしい」との声が多くあがっている。雨・雪・風などをしげるよう対策すること。

〔病院事業管理者〕 病院レストラン前バス停への風除室の設置を検討したが、災害拠点病院に指定されているため、難しいと考えている。なお、正面玄関・受付ホールを待合に利用いただきたい。

〔問〕 「得とく定期券」の購入可能回数をふやすこと。

〔市長〕 得とく定期券は、65歳以上の方や身体障害者手帳などを持っている市民が利用でき、購入費の一部を市が助成している。原則として年2回の助成だが、市民税非課税世帯で、かつ、障害者手帳を持つている方、または、片道の料金が400円以上の方は、年4回の購入助成を受けることができる。



一般質問

一般質問の全文は、3月上旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

公金収納業務の委託契約のあり方にについて

相馬 エミ子 議員（新生クラブ）
そうま エミコ



統制体制を強化してまいりたい。

高齢者のごみ出し支援

〔問〕 ひとり暮らしの高齢者の中には、ごみ収集日がわからなくなったり、足腰が衰え、ごみ出しが困難になつている方がいる。ごみ出し支援を実施してはどうか。高齢者の見守り活動としても期待できると思う。

〔問〕 扇田病院で発生した着服問題を受けて実施された公金収納業務隨時監査では、手続上の法令違反や委託業務の管理監督体制の不備などが指摘された。20項目を越える指摘について、どのように受けとめているのか。また、公金収納業務の委託契約に対する市長の考えは。

〔市長〕 隨時監査において、法令等に反する手続上の不備や、収納金の確認が形式的な照合のみとなつていた等の指摘があつたことを重く受けとめている。対策として、全手続一した手続を定め、ガイドラインの作成やチェック体制の整備を早急に進める必要がある。また、公金収納における現金取扱事務について、全課を対象に調査を実施し、改善すべき点には改善を指示した。職員のコンプライアンス意識を高め、事務処理と連携し、就労に結びつけていきた

ひきこもり就労支援 サポートについて

〔問〕 本市のひきこもりの現状をどの程度把握しているのか。また、就労支援サポートステーションに対する市長の考えは。

〔市長〕 ひきこもりの長期化と家族の高齢化が社会問題になつていて、本市で確認された方は72人で40～50歳代が多い。就労支援事業所や団体と連携し、就労に結びつけていきた

いと考えている。

農業政策について

石垣 博隆 議員（平成会）



〈問〉 国による生産数量の配分の廃止に対する本市の平成30年産への対応と農家に対する周知は。

〔市長〕 農業者やJA等がみずから経営判断に基づき生産数量を決定する仕組みとなるが、米の需給バランスを保ち価格を安定させるために需給調整は欠かせないものである。大館市農業再生協議会では市の生産目安の算定を進め、12月中にJA等集荷業者を通じて農業者に提示する予定としている。その後、1月に市内5会場で臨時の説明会を開催するほか、例年2月に市内約60カ所で行っている集落座談会で説明するなど、JA等関係機関と連携し農家への周知を図っていく。

〔問〕 今後、減反廃止に伴う本市での水田政策はどうなるのか。

〔市長〕 市では、基幹産業である農業について、主食用米への依存度

を下げ、主食用米以外の作物との複合経営を推進し、重点戦略作物の作付拡大や飼料用米等の作付支援を実施してきた。今後は「大館とんぶり」や加工用米等の作付支援内容を見直した上で、30年度以降継続するよう検討しているほか、野菜重点戦略作物については、産地交付金の活用による産地づくりを、また、JA等と連携し、飼料用米に力点を置いた品種構成による農作業時期の分散が可能な栽培体系へ誘導していきたい。

〈問〉 熊から農産物を守るための行政支援策はないか。

〔市長〕 県ではツキノワグマ出没警報を12月20日まで延長し、9年ぶりに熊の狩猟を解禁した。また、人の生活圏と熊の生息域を区別する緩衝帯等の整備、電気柵の設置など、市街地への出没防止や農産物被害への対策を強化するとしている。大館市としても、熊を人里におびき寄せる対策を講じていく。電気柵の設置支援については、県内の多くの市町村が支援を行っており、他自治体を参考に、農家の皆様が安心して営農できるよう実施に向けて検討すべきと考えている。

平成30年度の予算編成について

田村 儀光 議員（平成会）



〈問〉 予算編成の基本方針は。市民にもわかりやすく。

〔市長〕 市総合計画・総合戦略の着実な推進、市民生活に密接にかかる施策への重点配分、行財政改革と財政健全化の推進を掲げた。総合計画では、目指す将来像を「匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく未来創造都市」とさせていただきたい。市民一人一人が大館のよさを再認識し、ともにまちづくりを行っていくことが重要である。また、鉱業技術、曲げわっぱ、大館城下の歴史的風致、きりたんぽ、秋田犬など地域の宝と言えるものがたくさんある。これらに光を当てた物語づくりによるまちづくりを進めることで稼ぐ力の向上につなげ、得た恵みを子育て支援や、大館を支えてこられた世代の方々への支援などに還元していくことで、持続可能なまちづくり

を進めようという思いを込めている。

〔問〕 市民に説明する機会を設けてはどうか。

〔市長〕 市民と語る会のほか、御要望があれば直接出向いて説明をさせていただきたい。

イノシシ対策について

〈問〉 早急な対策を考えるべき。

〔市長〕 鳥獣被害防止計画にイノシシへの対策を追加し、被害防止体制の整備を進めてまいりたい。

たばこ税について

〈問〉 28年度収入実績5億4,000万円の使途は。安全・安心で兼ねなく喫煙できるスペースを設けるべき。

〔市長〕 使い道が特定されない貴重な自主財源である。新庁舎の基本設計では、庁舎内に喫煙所は設置しない。庁舎の外、敷地内への設置については、検討してまいりたい。

高齢者等の交通弱者対策について

〈問〉 現状把握し対策を。

〔市長〕 交通弱者対策は喫緊の課題であると認識している。皆様の御意見を伺い、検討してまいりたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

新しい形の農業支援について

齊藤 則幸議員（公明党）



るため、今後、共通する観光資源として協力体制を構築してまいりたい。

路面下の空洞調査について

（問） 車道の路面下空洞調査を早急に行うべきではないか。

〔市長〕 安全・安心を確保するためにも、路面下の空洞調査は必要。

昨年2月に発生した新町の歩道陥没は兆候を確認できなかつた。御提案のスケルカーによる空洞調査について、先進地の取り組みを参考とし、計画的な調査の実施を検討したい。

平滝地区に携帯電話がつながるようになつた。

（問） 本市では、平滝地区を除き全ての居住エリアで携帯電話がつながる。平滝地区でも早期につながるようにしてほしい。

〔市長〕 平成19年以来毎年、通信事業者に対して直接アプローチするなど参画を求めてきたが、採算性が見込めないとして事業化には至つてない。防災上の観点からも引き続き早期事業化を目指し取り組んでいく取り組みに対し興味を示している。

観光交流の拡大について

（問） 福島県二本松市の岳温泉の再開発に大きな功績を残したのが、本市出身の木村泰治氏である。交流してはどうか。

〔市長〕 二本松市では、木村氏の功績を掘り起こし、再度光を当てていく取り組みに対し興味を示している。

水害対策について

佐藤 真平議員（新生クラブ）



（問） 大雨で貯水池や沼の堤防決壊も心配されるが。

〔市長〕 ため池管理者や県と連携し、パトロール等適正な維持管理に努めてまいりたい。

墓地公園について

（問） 管理状況と苦情の処理は。

〔市長〕 市では、4つの墓地公園で樹木の剪定、トイレ清掃、除雪等の業務を委託し、お盆と彼岸に合わせて草刈りを集中的に実施している。苦情については、委託業者と現地を確認しその都度対応している。

（問） 今後の方針は。

〔市長〕 空き状況等を考慮すると現時点での増設の必要性は低い。

市民プール建設について

（問） 市民プール整備検討委員会の意見は。

〔市長〕 ハード、ソフトの両面から議論しており、現在、報告を待つていてる状況である。

（問） プール利用者への助成は。

〔市長〕 官民連携やスポーツ産業の展開等を見きわめながら検討している。今後も各事業の推進や早期完成について、強く働きかけていく。

総務財政常任委員会

○平成29年7月19日～21日

愛媛県新居浜市

- ・「新居浜いんふお」による行政情報報発信の取り組み

新居浜市では、防災・災害情報、避難場所の情報、防犯・見守り情報、イベント・観光情報等を発信するスマートフォン用公式アプリケーションを導入。今後、有事の際に適切な対応ができるようシステムの改修を検討している。



〈新居浜市役所にて〉

- ・地域創生センターの取り組み
- 福岡県福津市
- ・認知症高齢者の支援施策について
- 飯塚市

西条市では、市が所有するビジネスホテルを改修し、高等教育機関等との連携を基軸に地域の人財育成の拠点施設として、平成28年4月に地域創生センターを開所。共同研究の活性化や高等教育の履修機会の拡大等を通じて、定着人口の維持を目指している。



〈福津市のフクスタを視察〉

厚生常任委員会

○平成29年7月26日～28日

福岡県福津市

- ・「フクスタ」とびあ

福津市児童センター「フクスタ」は、福津市こどもの国基本構想に基づき平成25年に完成した。小学生から高校生までの児童・生徒の憩いの場を提供している。健康福祉総合センター「ふくとぴあ」は、市民の健康維持・増進に寄与している。

教育産業常任委員会

○平成29年7月26日～28日

高知県高知市

- ・移住・定住促進施策について

「住んでみたい・住み続けたいまち高知市」の実現を目指し、周辺市町村と広域連携した移住・定住PR事業に取り組んでいる。専門相談員の設置や移住後のフォローアップ、三世代同居等Uターン支援事業等を展開し、転入の促進・転出の抑制を図っている。



〈高知市役所にて〉

- ・学校教育における食育の取り組みについて
- 高知県南国市
- ・認知症高齢者の支援施策について
- 飯塚市

南国市では、「南国方式」と呼ばれる全国屈指の学校給食が行われている。知育・德育・体育の中心に食育を位置づけている。地域の食材を通じて生産から流通、消費までの一連の過程が教育的・文化的財産であるという地産地消の理念のもと、「食」を通じて地域とのかかわりや連携を深める人づくりを進めている。



〈射水市役所にて〉

- ・地域公共交通について
- 富山県射水市
- ・認知症高齢者の支援施策について
- 飯塚市

射水市では、平成17年の市町村合併以前の新湊市・小杉町でコミュニティバスが運行されてきた。合併を機に路線網を拡大したが、そのうち4路線は利用者が少なく存続が危ぶまれた。しかし、沿線の交通弱者にとっては貴重な交通手段となつたため、代替手段としてのデマンドタクシーを運行するに至った。

建設水道常任委員会

○平成29年7月24日～26日

富山県氷見市

- ・公共交通政策について

氷見市では、中山間地において路線バスの運行数減・路線縮小・廃止が余儀なくされた。このような中、通勤・通学者や交通弱者の足を確保するため、NPO法人によるNPOバスが4路線に運行され、市は協議会を組織し、運行等の支援を行ってきた。

平成 29 年 議会報告会の結果報告

市民の皆様には多数のご参加をいただき、まことにありがとうございました。意見交換の場でいただいた貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

また、市に対するご要望等につきましては、議会から文書で市当局へ回答を求めておりますので、とりまとめた上で次回の議会だよりでご報告いたします。

なお、紙面の都合上、ご意見・ご要望等の全てを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。



〈高齢者生産活動施設にて〉

開催日・参加人数
11月13日（月） 北地区コミュニティセンター 片山町内会館
11月14日（火） 田代公民館
11月15日（水） 比内公民館
11月16日（木） 中央公民館 矢立公民館
高齢者生産活動施設（三岳地区） 山田分館

● 11月13日（月）
北地区コミュニティセンター
片山町内会館 14人

● 11月14日（火）
田代公民館 14人

● 11月15日（水）
比内公民館 9人

● 11月16日（木）
中央公民館
矢立公民館 12人

高齢者生産活動施設（三岳地区）
山田分館 4人

8人 12人 9人 10人 14人

議会への意見・要望など

〔問〕 議会ホームページを充実させてほしい。

〔答〕 ホームページに市議会カレンダーの掲載を始めました。今後もより見やすく、わかりやすい情報の発信に努めてまいります。

市への意見・要望など

◆ 熊の出没が多い。緩衝帯の整備が大事。市で刈り払いの実施を。

◆ 地域のイベントに、市職員は積極的に参加してほしい。

◆ 武道館を解体すれば、どこで練習するのか。武道館を建設してほしい。

◆ ハチ公に関する商品について、若い人に人気のある人を招聘して、新たなグッズをつくってはどうか。

◆ 道路や側溝の破損については早急な改善整備をお願いする。

◆ 敬老会で秋田県民歌は歌うが、市民歌を歌うことがない。市民としては誇りを持って市民歌を歌いたい。

◆ 病院の収納業務体制の見直しと、職員の意識改革が必要である。

◆ 分館設備の予算が少ない。雨漏りも修理してくれない。避難所になつてているのに毛布もなく、カーテンも防火用になつていない。

◆ 大館市の景観をよくしようといふメッセージがどこにもない。生活道路は他市と比べても悪いので、まちの整備を含めて考えてほしい。

◆ 花岡総合スポーツ公園の野球室内練習場は、ほこりが多くて困っている。また、中庭の黒鉄は残してほしい。

〔問〕 議会報告会はどう周知しているのか。もっと周知してほしい。

〔答〕 現在、議会改革協議会で検討中です。
〔問〕 議員個々の議案等の賛否を明らかにしてほしい。

〔答〕 市議会だよりや市ホームページ、また、新聞広告に掲載しています。今後はより広く市民の皆様に周知できる方法を検討してまいります。

◆ 市議会だよりや市ホームページ、また、新聞広告に掲載しています。今後はより広く市民の皆様に周知できる方法を検討してほしい。

私もひ・と・こ・と 第32回

島内重昭さん（中神明町）



安藤昌益（1703～1762）

顕彰する会編「大館の人・事典」には江戸中期の思想家、医者、号は確龍堂良中など、生没は旧二井田村とある。碑が村中にある。著書「自然真當道」には、農民のように己の食する物は己で生産する「直耕」こそが人の道であり、武士のように他人の生産する物を収奪すべきではないと説いた。身分制度の厳しい徳川封建社会にあって、平和で差別のない万民が幸福な理想社会・自然世を求めた昌益。

狩野亨吉（1865～1942）

10月14日は安藤昌益の命日である。毎年この日の前後に大館市の先人を顕彰する会では碑前のつどいを行う。郷土の先人の石碑やお墓、関連施設を訪ね、その偉業を学び顕彰している。

近・現代の郷土史で大館が生んだ三大先人といえば、安藤昌益、狩野亨吉、小林多喜二が通説である。中学や高校の教科書に載っているだけではなく、いざれもその高い学識を世のため人のため、己が生涯をかけて燃焼した人だからである。

「吾輩は猫である」の苦沙弥先生は亨吉

大館生まれの大館育ち。中学の国語教師として38年間市内の各校で子供たちと共に学ぶ。退職後、先人を顕彰する会に関わってきた。

がモデル。夏目漱石は生涯の友である。

皇太子（昭和天皇）の教育係に推されたがこれを固辞。身を市井の骨董屋に埋めた。

小林多喜二（1903～1933）

代表作「蟹工船」が世界各国で翻訳された著名なプロレタリア作家。下川沿駅前に生誕の地碑、同公民館正面に資料展示。郷土博物館右隅に文学碑。「我らの芸術は飯の食えない人にとつての料理の本であつてはならない」の至言が多喜二の全てを物語っている。2月、街中と川口で多喜二祭がある。

市議会傍聴者の声から
議場の座席表があれば、市議会をもつと身近に感じると思うのですが…。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108（直通）

編集後記

昨年6月から議会報委員会に配属され、「読んでもらえる議会報」を目指して委員会を重ねております。以前の議会報と何の変わりばえもないようを感じていらっしゃる市民の皆さまは、ぜひ、昨年までの議会報と比較してみてください。文字の大きさ、レイアウト、見やすいスペース、配色など、実はちょっとしたマイナーチェンジを加えることで「読みやすい議会報」に変化していることに気づいてもらえるはずです。

そして今度は、議会の生の議論を傍聴にいらしていただければ幸いです。



（日景 賢悟 記）